



## 令和7年 岐阜県鉱工業指数(年報)

【令和2年基準】

### 1 概 況

生産指数 114.5 前年比3.7%の上昇  
出荷指数 110.2 前年比3.5%の上昇  
在庫指数 115.1 前年比0.7%の上昇

令和7年1年間の生産指数は、汎用・生産用・業務用機械工業等が低下したものの、電気機械工業、化学工業等が上昇したため、前年比3.7%の上昇となった。

また、出荷指数は、輸送機械工業、電気機械工業等が上昇したため3.5%の上昇となり、在庫指数は、化学工業、プラスチック製品工業等が上昇したため0.7%の上昇となった。

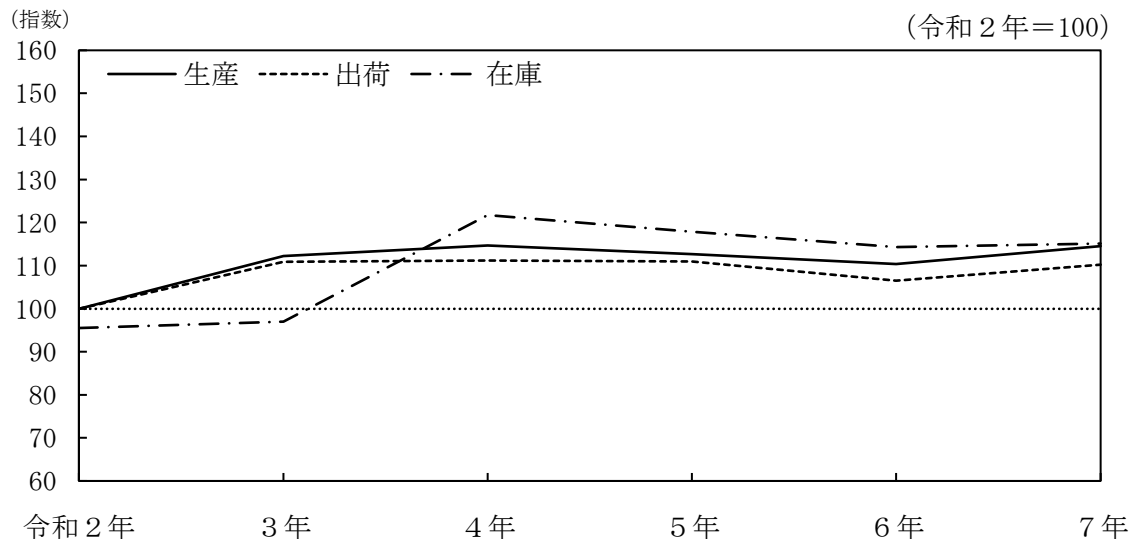
(図－1)

(令和2年=100)

| 区 分  | 生 産   |         | 出 荷   |         | 在 庫   |         |
|------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|
|      | 指 数   | 前年比 (%) | 指 数   | 前年比 (%) | 指 数   | 前年比 (%) |
| 令和2年 | 100.0 | △ 14.5  | 100.0 | △ 18.3  | 95.5  | △ 4.6   |
| 3    | 112.2 | 12.2    | 110.9 | 10.9    | 97.0  | 1.6     |
| 4    | 114.7 | 2.2     | 111.2 | 0.3     | 121.7 | 25.5    |
| 5    | 112.7 | △ 1.7   | 111.0 | △ 0.2   | 117.9 | △ 3.1   |
| 6    | 110.4 | △ 2.0   | 106.5 | △ 4.1   | 114.3 | △ 3.1   |
| 7    | 114.5 | 3.7     | 110.2 | 3.5     | 115.1 | 0.7     |

(注) 年指数の値は、生産及び出荷指数は月指数の平均値、在庫指数は年末値による。

図－1 岐阜県鉱工業指数の推移（原指数）



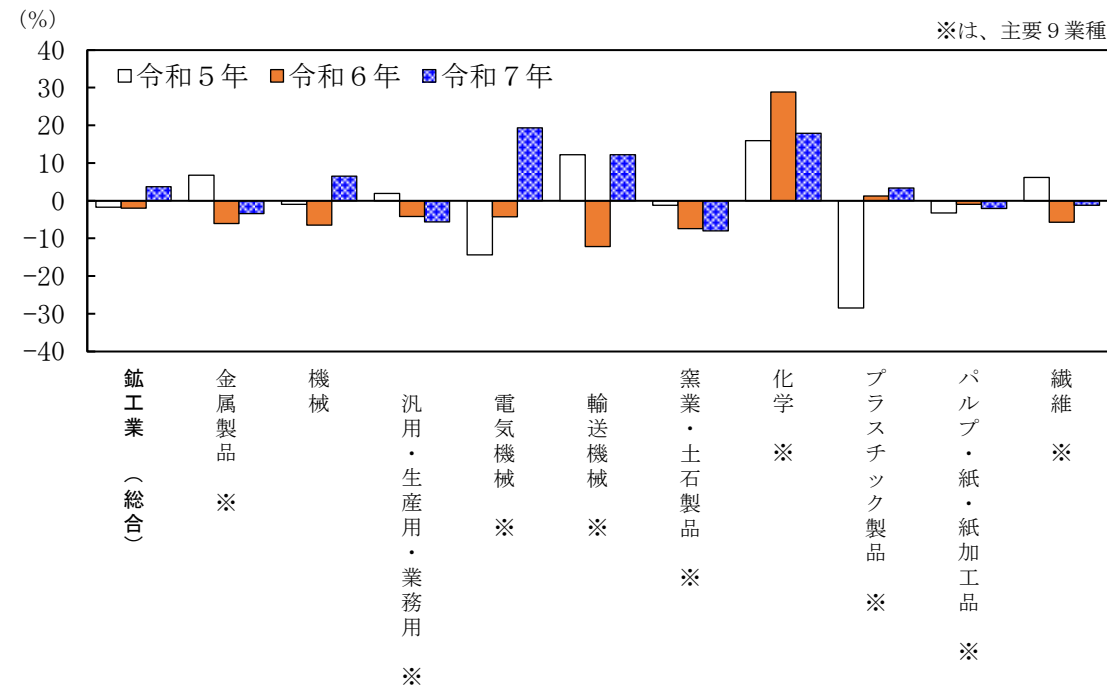
## 2 主要業種別生産指数の前年比

主要9業種(※)の生産指数を業種別に前年と比べると、上昇したのは、電気機械工業(前年比19.3%)、輸送機械工業(同12.2%)、化学工業(同17.9%)、プラスチック製品工業(同3.4%)の4業種となった。

一方、低下したのは、金属製品工業(同△3.4%)、汎用・生産用・業務用機械工業(同△5.6%)、窯業・土石製品工業(同△8.0%)、パルプ・紙・紙加工品工業(同△2.1%)、繊維工業(同△1.2%)の5業種となった。

(図－2、表－1)

図－2 主要業種別生産指数の前年比の推移(原指数)



## 3 全国、中部との生産指数の比較

令和7年の全国における生産指数は、前年比0.3%の低下であった。  
また、中部においては、1.0%の上昇であった。

(令和2年=100)

| 区 分  | 岐阜県   |         | 全 国   |         | 中 部   |         |
|------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|
|      | 生産指数  | 前年比 (%) | 生産指数  | 前年比 (%) | 生産指数  | 前年比 (%) |
| 令和2年 | 100.0 | △ 14.5  | 100.0 | △ 10.4  | 100.0 | △ 13.1  |
| 3    | 112.2 | 12.2    | 105.4 | 5.4     | 107.2 | 7.2     |
| 4    | 114.7 | 2.2     | 105.3 | △ 0.1   | 104.8 | △ 2.2   |
| 5    | 112.7 | △ 1.7   | 103.9 | △ 1.3   | 107.1 | 2.2     |
| 6    | 110.4 | △ 2.0   | 101.2 | △ 2.6   | 104.6 | △ 2.3   |
| 7    | 114.5 | 3.7     | 100.9 | △ 0.3   | 105.6 | 1.0     |

(注)「中部」とは、中部経済産業局管内5県(愛知、三重、石川、富山、岐阜)

資料：経済産業省、中部経済産業局

## <令和7年 岐阜県鋳工業指数の詳細について>

### 1 鋳工業指数の四半期推移

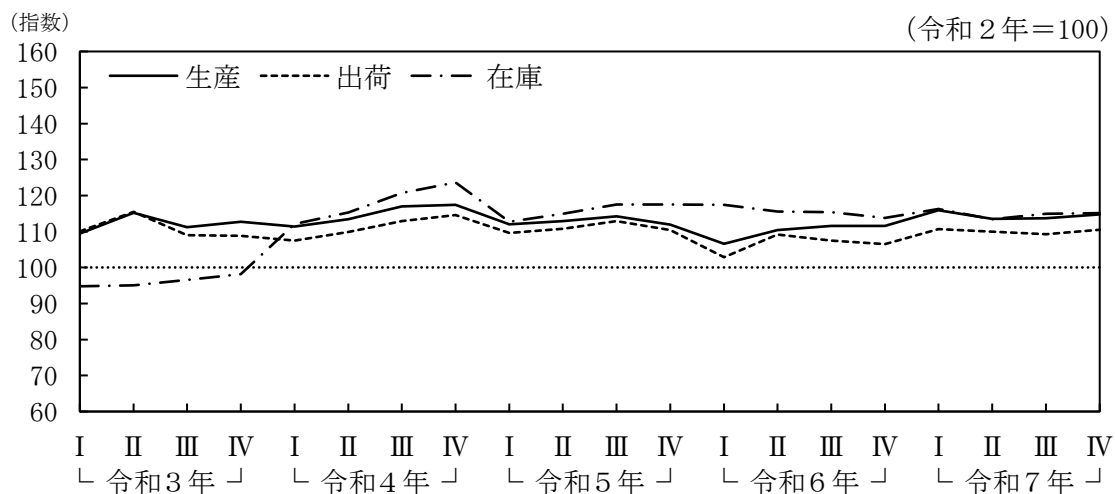
令和7年の生産指数の四半期推移をみると、第1期は3.9%の上昇、第2期は2.1%の低下、第3期は0.2%、第4期は1.0%の上昇となった。

また、出荷指数は、第1期が上昇、第2期、第3期が低下、第4期が上昇となった。

なお、在庫指数は第1期が上昇、第2期が低下、第3期、第4期が上昇となった。

(図－3、表－2)

図－3 鋳工業指数の四半期推移（季節調整済）



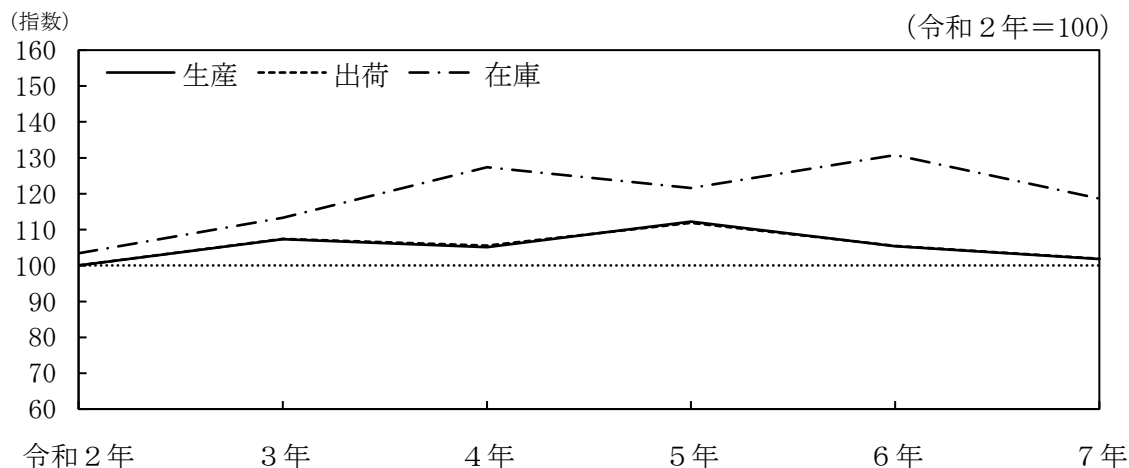
### 2 主要業種別指数の動向

#### (1) 金属製品工業

- ・ 生産指数は、管継手等が減少したため、前年比3.4%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、管継手等が減少したため、前年比3.4%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、包丁等が減少したため、前年比9.3%の低下となった。

(図－4、表－1)

図－4 金属製品工業（原指数）

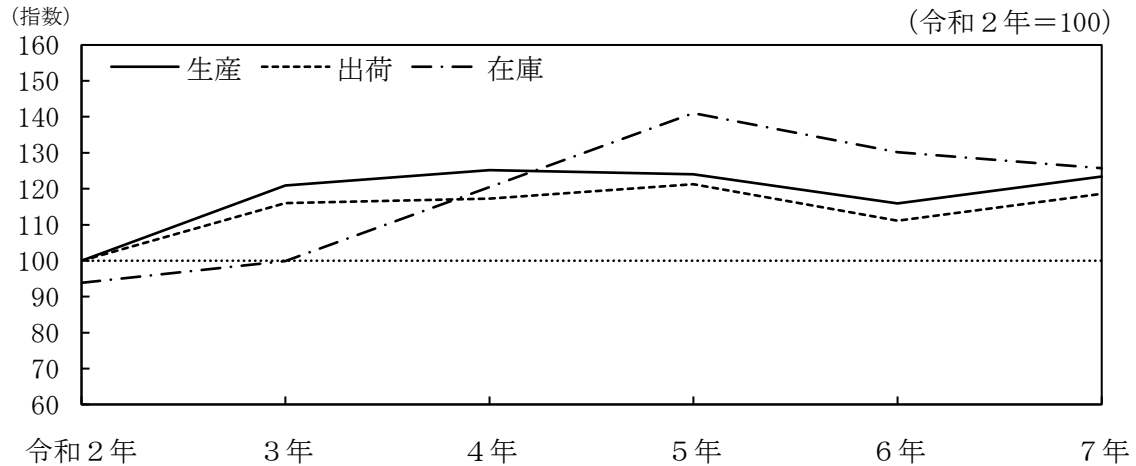


## (2) 機械工業

- ・ 生産指数は、汎用・生産用・業務用機械工業が低下したものの、電気機械工業、輸送機械工業が上昇したため、前年比6.5%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、前年比6.8%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、前年比3.5%の低下となった。

(図－5、表－1)

図－5 機械工業（原指数）

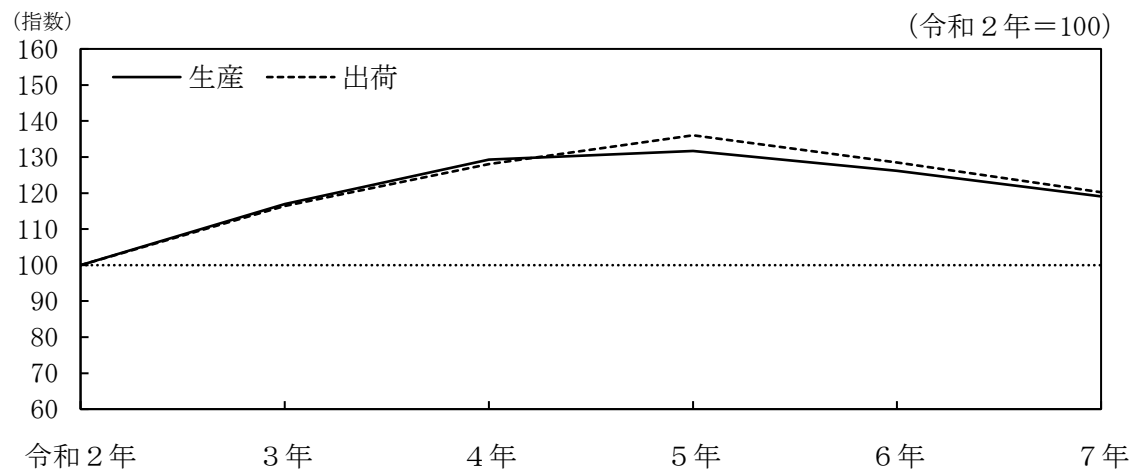


## (2) ア 汎用・生産用・業務用機械工業

- ・ 生産指数は、金型等が減少したため、前年比5.6%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、研削盤等が減少したため、前年比6.5%の低下となった。

(図－6、表－1)

図－6 汎用・生産用・業務用機械工業（原指数）

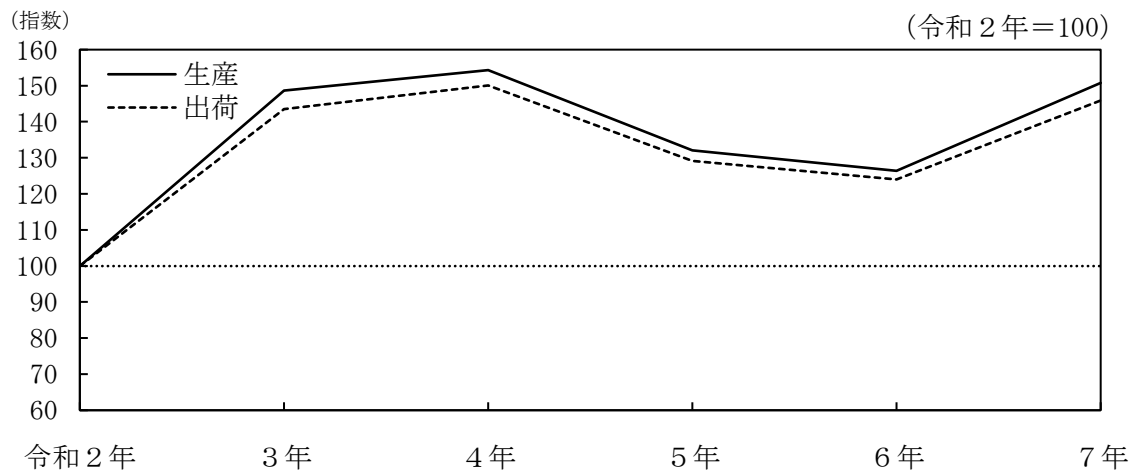


## (2) -イ 電気機械工業

- ・ 生産指数は、電子回路基板等が増加したため、前年比19.3%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、電子回路基板等が増加したため、前年比17.7%の上昇となった。

(図-7、表-1)

図-7 電気機械工業（原指数）

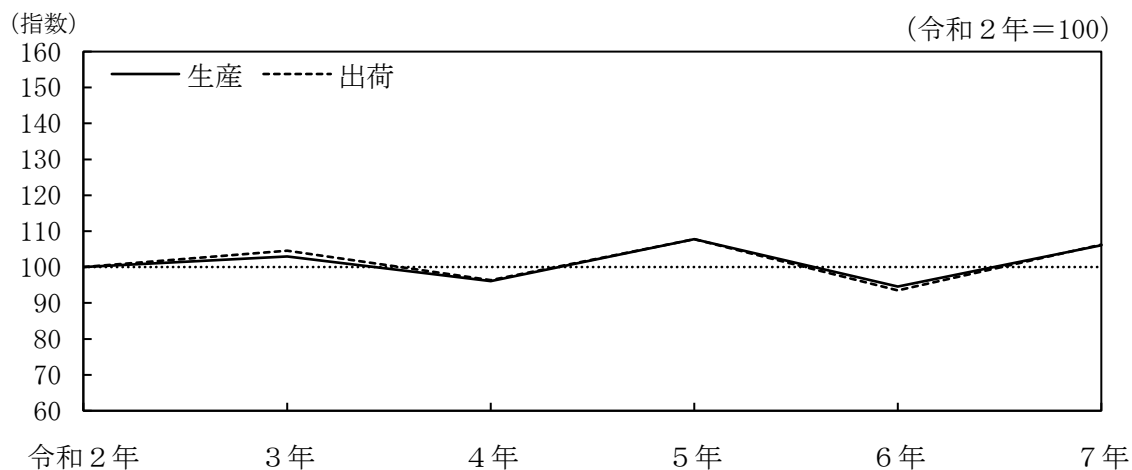


## (2) -ウ 輸送機械工業

- ・ 生産指数は、前年比12.2%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、前年比13.7%の上昇となった。

(図-8、表-1)

図-8 輸送機械工業（原指数）

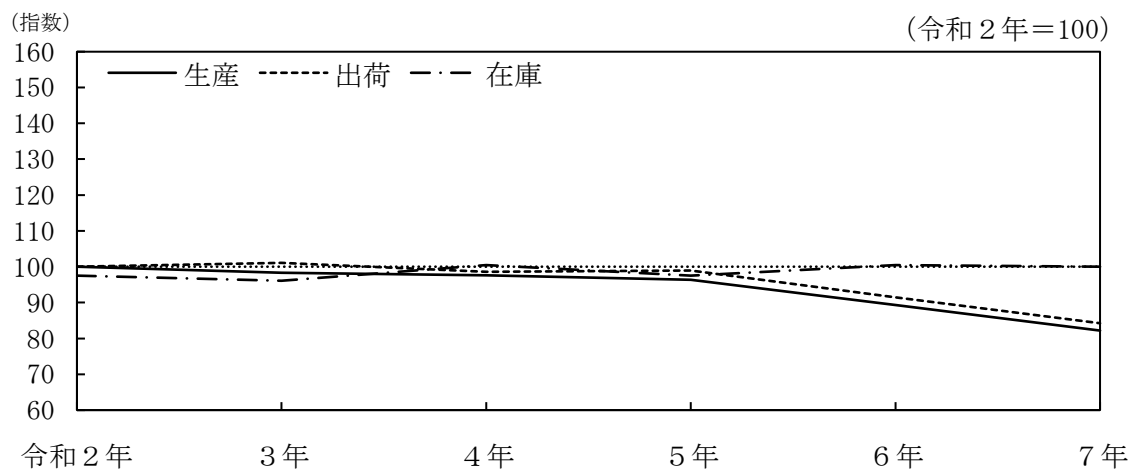


### (3) 窯業・土石製品工業

- ・ 生産指数は、生コンクリート等が減少したため、前年比8.0%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、タイル（陶磁器製タイル）等が減少したため、前年比8.0%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、タイル（陶磁器製タイル）等が減少したため、前年比0.5%の低下となった。

(図－9、表－1)

図－9 窯業・土石製品工業（原指数）

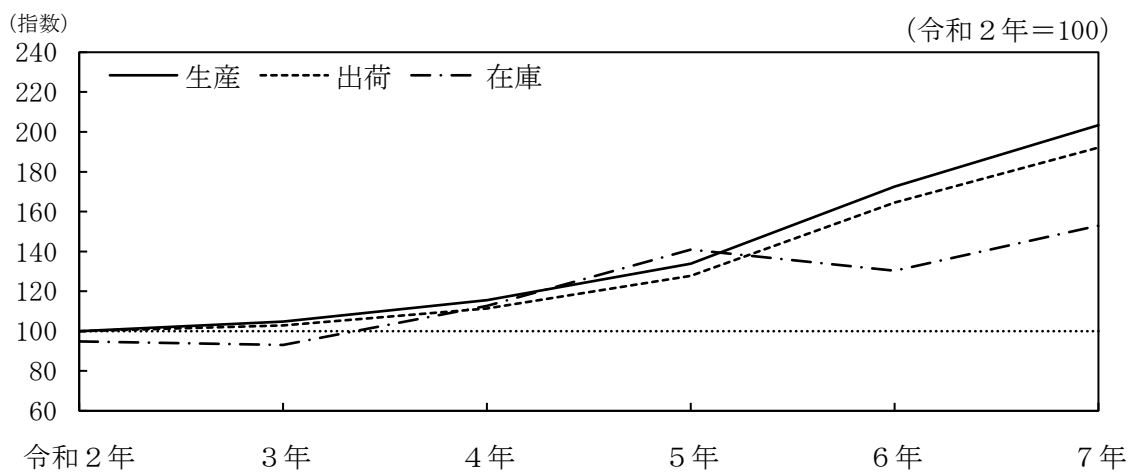


### (4) 化学工業

- ・ 生産指数は、医薬品等が増加したため、前年比17.9%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、医薬品等が増加したため、前年比16.8%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、前年比17.3%の上昇となった。

(図－10、表－1)

図－10 化学工業（原指数）

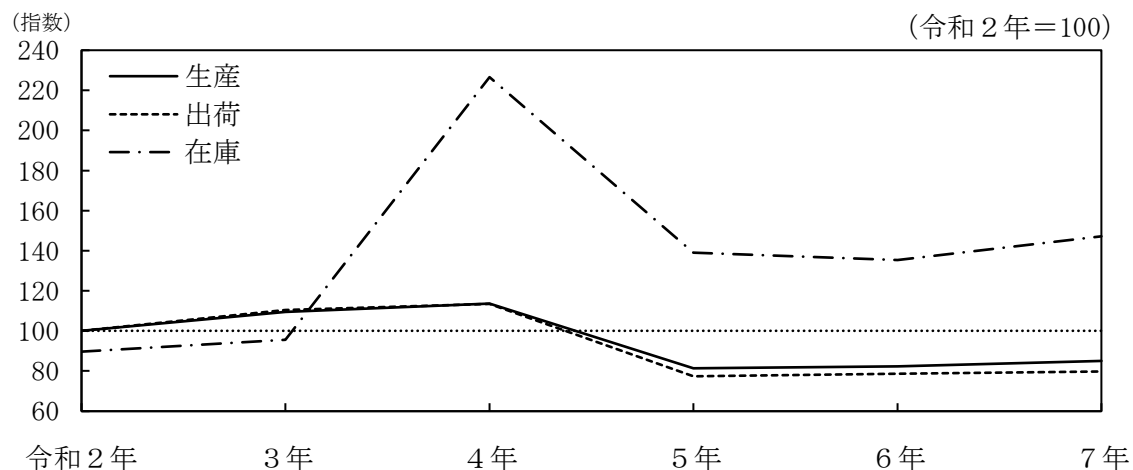


## (5) プラスチック製品工業

- ・ 生産指数は、プラスチック製機械器具部品等が増加したため、前年比3.4%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、プラスチック製機械器具部品等が増加したため、前年比1.4%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、プラスチック製フィルム等が増加したため、前年比8.8%の上昇となった。

(図-11、表-1)

図-11 プラスチック製品工業（原指数）

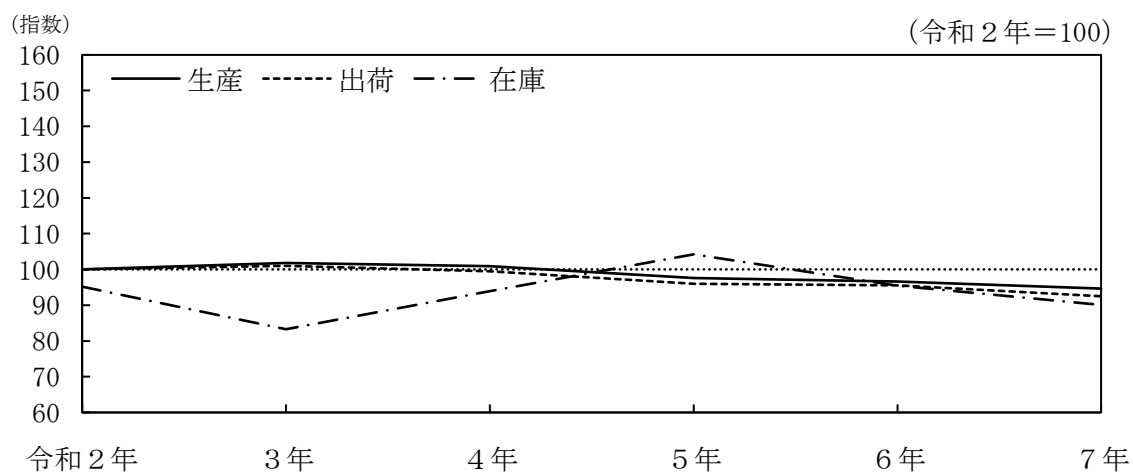


## (6) パルプ・紙・紙加工品工業

- ・ 生産指数は、段ボール原紙等が減少したため、前年比2.1%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、段ボール原紙等が減少したため、前年比3.1%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、雑種紙等が減少したため、前年比5.6%の低下となった。

(図-12、表-1)

図-12 パルプ・紙・紙加工品工業（原指数）



## (7) 繊維工業

- ・ 生産指数は、毛織物等が減少したため、前年比1.2%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、合成繊維糸等が減少したため、前年比3.2%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、不織布等が増加したため、前年比3.2%の上昇となった。

(図－13、表－1)

図－13 繊維工業（原指数）

